

# 宿泊事業者へのアンケート調査結果について

## 調査概要

調査名称： 新たな観光財源の検討に係るアンケート  
調査対象： 市内宿泊事業者  
調査期間： 令和7年10月3日～令和7年10月17日  
送付件数： 126件  
回答事業者数： 52件（回答率 41.3%）

以下、各設問についての回答状況を記載します。

問1 貴施設の種別について当てはまるもの1つに○をつけてください。

施設種別	回答数
ホテル	16
旅館	12
民宿	7
簡易宿所	13
民泊	4
合計	52

問2 貴施設の規模（部屋数）を教えてください。

施設規模 (部屋数)	回答数
1～5	23
6～10	11
11～50	9
50以上	8
合計	51

問3 宿泊税について貴施設のお考えにもっとも近いものに○をつけてください。

回答	回答数	割合
1 観光施策の充実強化のために必要である	11	22.4%
2 観光施策の現状維持のために必要である	5	10.2%
3 全国的な流れであり、理解できる	6	12.2%
4 趣旨は理解できるが、そのための負担が増えることは困る	22	44.9%
5 その他	5	10.2%
合計	49	

問4 宿泊税の課税方式別にもっとも不安材料となるものについて○をつけてください。

課税方式	不安材料					合計
	特に問題なし	宿泊税をお客様から徴収できるかに不安がある	宿泊税の申告や納付の事務に不安がある	システム改修に不安がある		
宿泊料金に関係なく同じ税額	16	15	10	5	46	
宿泊料金に応じ税額に段階をつける	9	11	20	5	45	
宿泊料金が一定金額(免税点)以下の場合、宿泊税を徴収しない	19	13	8	7	47	
宿泊料金に関係なく定率	4	10	24	7	45	

問5 宿泊税は、宿泊者1人ずつに課税することになります。1人あたりの料金の算出にも対応できますか。

回答	回答数
1 対応できる	34
2 対応できない	15
合計	49

問6 税率やその段階を検討するため、貴施設の宿泊料金帯について、年間を通じてもっとも宿泊者の多い中心価格帯を教えてください。なお、食事代等を含む場合は、素泊まり料金に換算してください。

中心価格帯	回答数	割合
5,000円未満	6	12.0%
5,000円～6,000円未満	7	14.0%
6,000円～7,000円未満	2	4.0%
7,000円～8,000円未満	3	6.0%
8,000円～9,000円未満	9	18.0%
9,000円～10,000円未満	4	8.0%
10,000円～15,000円未満	10	20.0%
15,000円～30,000円未満	8	16.0%
30,000円以上	1	2.0%
合計	50	

問7 貴施設の宿泊料金について最低価格を教えてください。

最低価格帯	回答数	割合
4,000円未満	5	10.0%
4,000円～5,000円未満	5	10.0%
5,000円～6,000円未満	8	16.0%
6,000円～7,000円未満	3	6.0%
7,000円～8,000円未満	4	8.0%
8,000円～9,000円未満	5	10.0%
9,000円～10,000円未満	3	6.0%
10,000円～15,000円未満	9	18.0%
15,000円～	7	14.0%
合計	49	

問8 貴施設における宿泊料金の支払い方法を教えてください。

回答	8割以上と回答した施設数
1 ホームページやO T Aによる予約時の事前決済	10
2 チェックイン時または宿泊後の支払	15

問9 貴施設では、修学旅行や宿泊研修などの学校行事の宿泊を受け入れていますか。

回答	回答数	最低価格	最高価格
1 受け入れている	14	3,000	15,000
2 受け入れていない	36	-	-

問10 貴施設では、宿泊目的を把握していますか。把握している場合、入院の付き添いや通院を理由とする宿泊があれば、それについて教えてください。

回答	回答数	入院通院目的	最低価格	最高価格
1 把握している	16	3	5,500	9,000
2 把握していない	33	-	-	-

問11 仮に宿泊税を導入することになった場合、次のことについて貴施設のお考えを教えてください。

	強く思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全く思わない
宿泊税についてお客様の理解が得られるよう市はしっかりと周知を図るべきである	40	6	2	1	0
宿泊税の徴収、宿泊者数の申告及び宿泊税の納入などの手間が増えることが課題である	33	14	2	1	0
宿泊税のために新たに発生する手間や会計システムの改修費などに経費が増えることが課題である	28	17	4	1	0

○宿泊税が導入されることになった場合に必要な支援について（自由記載）

**【代表的な意見の要旨】**

- ・ 納税方法や流れなどの説明が必要
- ・ システム変更等の経費増加に対する補助が必要
- ・ 事業者にかかる事務作業の煩雑さに見合う市からの支援が必要
- ・ 使用目的を明記したチラシ、なるべく簡易な申告書、使用結果の周知が必要
- ・ 入湯税と同じ徴収方法にしてほしい

問12 宿泊税や観光振興全般についてご意見がございましたらご記入ください(自由記載)。

【代表的な意見の要旨】

- ・人口減少、地域の高齢化、市街地経済の沈下減少が待ったなしの状況なため、観光振興から移住定住につながる発展的な取組みが必須である。
- ・出雲市をひとつの宿ととらえ、各施設・地域が一丸となって面で盛り上げる出雲の観光推進、なにとぞよろしくお願ひいたします。
- ・「夜市」「朝市」のイベントを打てば宿泊者の増加、周辺飲食店への経済効果が増大すると思います。
- ・オーバーツーリズム対策としてこの税を取り入れると思いますが、まず先行の自治体の成り行きを注視し、参考にしてから始めていただければと思います。
- ・入湯税・宿泊税ともに使途を明確にしてほしい。
- ・特定の地域ばかりに支出せず、偏りなく支出してほしい。
- ・インバウンド特需も近隣では玉造がメインで出雲市にまで波及していない。宿泊税の導入で波及が遠のくと思われる。
- ・宿泊税を徴収する前に、市営駐車場の有料化等現時点での財源確保に努めるべきではないか。徴収するなら、免税点を設定して欲しい。
- ・流れは理解できるが、ただの増税に思える。しっかり導入の趣旨が説明できないのであれば、絶対に反対。市として何に投資するのかをきちんと説明してほしい。
- ・宿泊税ありきのアンケートに思われ、不快に感じた。観光税として関わりあるすべての事業者から徴収すべきだと思う。自社は省力化のため宿泊者と対面しない宿となっているので、事務処理が増えることは大変に困る。
- ・宿泊者の理解よりむしろ払う側の理解が必要である。取りやすい宿泊業だけに絞るのは不公平だ。宿の規模も違うので、一律の税率なのはおかしい。